

地球環境保全に貢献する自動車リサイクル業

CRS埼玉、新卒採用本格化へ



杉山 一郎 担当部長



若月 直樹 取締役



加藤 一臣 社長

自動車リサイクルは、クルマの解体や中古部品などの販売をはじめ、パソコンの廃棄や素材の再利用など、地球環境の保護を目的として多大な貢献を果たす産業へと変遷した。リサイクル事業の従事者は整備士の有資格者が増え、社会貢献に意欲を持つ有能な人材も多い。CRS埼玉(加藤一臣社長)は社員一人ひとりのやりがいを感じる仕事「モチベーションアップ」に取り組み、新卒採用を本格化させる。(岡東文社 島田 朋之)



CRS埼玉の本社外観



iPadで情報共有

社内結束し業務効率向上



横断プロジェクトの会議で活発な意見交換

日本経営イノベーション協会主催の発表会で最優秀賞を獲得。学生が審査する「働きたい会社」賞に選ばれた

社員の自主性を尊重

社内横断プロジェクト／社外勉強会

「iPadを導入し、対象者全員が社内業務のすべてを把握できるソフトを自社で開発した。解体車両の引き取りや解体作業の進行状況、中古部品の在庫など、社内情報を共有するための。同社では「担当が不在で分かりませ

ん」が存在しない。さらに、部門ごとの横断プロジェクトへの参加と

社外の勉強会への積極的な参加や横断プロジェクトのミーティングは、現場の業務時間外を確保するという面がある。しかし、同社の結果は違った。加藤社長は「残業時間を増やすことなく、従来の解体

場取扱い」と効果を挙げる。取りやすい有休

人間関係が良好になったこと。同社のIT化がさらに生産性を向上させた。電

動車の増加を踏まえ、リチウムイオンバッテリーの知識習得にも

積極的に取り組んでいる。また、各部門の部長職4人

が主任の責、売上向上をアワードに協賛し、互いが協力し合

う関係を楽しんでいる。

リサイクル 北から南から

は、トップダウンではなく、社員の自主性に任せた。活動部長は今月有休が取得しや

果を日本経営イノベーション協

会が2月20日に開催した「ドラ

マティック・マ

ネジメントア

ワード」で発表。安全を担保するために何が

できるかを考える機会を確保し、全員が参加して進捗を把握し、学生たちが審査する「働きたい会社」賞に選ばれた



団法人フェューネラル・フラワー技能検定協会

株式会社 日本興礼寺院協会

株式会社 アーバンフェューネスコーポレーション

株式会社 ワードステージコンサル

株式会社 共栄

株式会社 ケアール

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄

株式会社 共栄